

## 【取組内容③】 「端末の日常的な持ち帰りによる家庭学習の充実」

## B.動画機能を利用した、音読、リコーダー練習などの記録

これまで、音読活動やリコーダー練習などは各家庭での活動として各自に任せることになっていたが、タブレットのカメラ機能を使うことで各家庭での取り組みを確認し評価できるようになった。

特にリコーダーでは、音楽の時間に一人ずつ呼び、リコーダーのテストをする場合、残りの児童の活動などを考慮する必要があるが、カメラで動画撮影させておけば、リコーダーのテストの時間も解消できる。また、音だけでなく、指使いもしっかりと確認でき、児童一人ひとりにアドバイスを送ることもできる。このように動画を活用することにより、限られた時間の中で、評価と指導の両立が可能となる。

また、人前では緊張する児童などにも有効的であると考えている。

その他として、身近な人への職業に関するインタビューなどを動画に撮り、それをもとにまとめる（国語・総合的な学習の時間など）、自分の幼少の頃の様子をインタビューして、それをもとにまとめる（生活・保健体育など）、自分の周囲にある防火施設などを動画に収める（社会など）など、様々な活用方法が考えられる。同時に、これらの動画を撮る前に、動画撮影のマナーや注意事項を児童が考え話し合う場を持つことが、ネットリテラシーやネットモラルの主体的な学びに繋がると考えている。



↑ 画像は宿題としてのリコーダー練習の動画をスクリーンショットしたもの。